

## 未来への力強い一歩

～オール弘前で新時代の扉を開く～

### 弘前の目指す姿(3本柱)

#### 誰もが生きがいを持てる未来

～子どもが健やかに育ち、若者が挑戦でき、  
家族が安心して暮らせる弘前をつくります～

#### 弘前市民の暮らしと安心を守る

～雪、医療、水道・道路などのインフラ。  
日常の安心が止まれば、暮らしは成り立ちません～

#### AI・DXによる変革

～人手不足の時代でも、行政も地域も回り続ける仕組みが必要です。  
AI・DX活用で市民ニーズに即した政策を実行～

#### 緊急課題!!

- 課題1 除排雪対策の抜本強化
- 課題2 物価高騰から暮らしを守る
- 課題3 まちの賑わいを取り戻す

～市政運営の基本方針～

- 地域力の“結集”
- 課題を“迅速”に解決
- 新しい可能性に“挑戦”
- 市民と“対話”を重ねる

### 弘前の底力を結集する「5つの戦略」

- 弘前の「活力」を創出。挑戦し稼げるまちへ**
  - 中心市街地のまちづくり再起動(旧大成小跡地・旧市立病院、土地区画整理等)
  - 水源確保と圃場再編の一体実施による農業基盤再生プロジェクト
- 教育と子育ての環境を充実。次世代の笑顔を守るまちへ**
  - 保育料の無償化と副食費支援(県施策と運動)、私立中学等への給食費支援
  - 学びのバトンプロジェクト(スキーや学用品のリユースや公的支援)
  - 雪を克服「全天候型子ども運動パーク」の整備
- 生活の基盤をアップデート。快適で誇れるまちへ**
  - 停滞した都市計画を再始動、都市マスタープラン等の策定(立地適正化計画・地域公共交通計画)
  - 県立郷土館の誘致とまちなかの市有財産のあり方検討
- 安心のネットワークを構築。誰もが生きがいを持って暮らせるまちへ**
  - 属性や世代を問わない包括的な支援(重層的支援体制の整備・居場所づくり)
  - 避難所環境の整備促進(冷暖房・プライバシー配慮・ペット対応など)
- 対話と連携で市政を再起動。津軽をリードするまちへ**
  - 公共施設の「津軽シェアリング」構想(広域運用・DX一括予約システム)
  - 市民対話プラットフォームの構築とデータに基づく市政経営(EBPM実装)



1969年 11月21日生まれ O型  
1988年 東奥義塾高等学校卒業  
1992年 道都大学社会学部福祉学卒業  
1998年 元衆議院議員故木村太郎 秘書  
2003年 弘前市議会議員・3期  
2015年 青森県議会議員・3期  
●(公社)日本空手協会青森県本部会長  
●弘前水泳協会会長  
●父・妻・長女・長男・次女の6人家族



# 谷川 政人

## 市民生活を第一に

### 「健康都市弘前」の実現

#### 桜田ひろしプロフィール

1959年 弘前市生まれ  
弘前大学人文学部経済学科卒業  
昭和58年弘前市役所入庁  
市民協働政策課長  
経営戦略部理事(部長級)兼政策推進課長  
観光振興部長を歴任  
平成30年 合併後の第4代弘前市長に就任  
令和4年 弘前市長再選



# 桜田ひろし

#### 「まち」の健康

- ① 中心市街地再生、物価高対策
  - 市民に選ばれる商業機能の集積
  - 働く場、公共機能、滞在空間の整備
- ② 産業団地整備、企業誘致
  - 雇用確保と所得向上
- ③ 持続可能な農業振興
  - 担い手、放任園、除排雪、トキの早もぎ対策
- ④ 除排雪体制の抜本的見直し
- ⑤ 弘前・函館連携による広域観光推進
- ⑥ 命をつなぐ道「市道富田樹木線」の拡幅整備
- ⑦ まちなか情報センターのリニューアル

#### 「ひと」の健康

- ① 保育料無償化、子育て支援充実
- ② 高齢者・障がい者福祉の充実
  - 運動教室、生きがい・居場所づくり
- ③ 弘前大学COI-NEXTとの連携
  - QOL健診普及
  - 岩木健康増進プロジェクト健診推進
- ④ 健康づくりのまちなか拠点整備
  - 休日急患診療所、健診センター
- ⑤ 通年利用可能な屋内市営プールの整備
- ⑥ 弘前総合医療センターの機能充実
- ⑦ 国民健康保険料の引き下げ

#### 「みらい」の健康

- ① 雨でも雪でも猛暑でも利用可能な子どもの遊び場、高齢者の居場所となる屋内施設整備
- ② スポーツ文化芸術による子どもの「力」「心」の育成
- ③ 学ぶ力をはぐくむ教育の質の向上
- ④ 学校を地域コミュニティの核にした教育環境整備
- ⑤ 移住定住促進、関係人口の創出
- ⑥ 子どもたちの職業選択と地元企業の魅力発信
- ⑦ 町会組織の活性化
- ⑧ (仮称)弘前ふるさと偉人館の整備
- ⑨ 克雪トレーニングセンターの人工芝化
- ⑩ 交通広場リニューアル

#### 略歴

- 1956年 11月14日 青森市に生まれる
- 1975年 苗場ワールドカップ アルペン 競技日本代表
- 1980年 日本大学文学部卒業、青森県木工指導所勤務
- 2000年 青森県ヨーロッパ5ヶ国海外農業研修に参加
- 2003年 弘前市議会議員選挙初当選6期24年にわたり在任
- 2008年 (株)ダイヤモンドアップル設立(りんご生産・販売)
- 2012年 弘前市農業委員7期28年にわたり在任

## 弘前をかえるなら

～残すべきものは残し変えるべきものは変える～



**公約 5つのKと ナイスウェイ NICEWAY**

- Y 雪** 立地条件に応じた除雪の対応と消融雪量の促進。
- A 安全** ペット同伴の避難所の開設。
- W 若者** エスポーツ・サブカルチャー、スケートボード、ヒップホップダンスなどの環境整備と大会の開催。
- E ユネスコエコパーク** 自然と共生したまちづくり。早期のユネスコエコパーク国際認定を目指す。
- C 中心市街地** 福祉を核とするまちづくり。
- I 住む・暮らし(iLive)** 狭あい道路(4メートル未満)の解消。公園のキャンピング場利用。
- N 農業** りんごの担い手育成、労働力不足の解消。無農薬栽培野菜・米の学校給食への提供。
- K5 困難を抱えた方に寄り添う** DV、引きこもり、不登校、貧困、交通弱者、中間支援者の活動を支援。子ども養育費立て替え支援事業。
- K4 健康** 平均寿命の延伸、通年使用のランニングコースの設置。
- K3 教育・子ども** 保育料の無償化、学費向上。国際交流と英語教育の充実。スポーツ文化活動の充実。
- K2 観光** 伝統芸能、文化・歴史、文化財を活用し観光の起爆剤に。
- K1 協働のまちづくり** 傍観者からプレイヤーに。

**目指すべき弘前市民の暮らし**  
安定・生活の安定  
安心・住んで安心  
安全・災害・雪に強いまち

**市政運営の基本的姿勢**  
① キーワードは「自立」  
② 真の市民協働参画  
③ 徹底した情報公開



無所属  
いしおか  
**石岡ちげこ**  
69歳

投票日  
令和8年 **4/12**(日)

午前7:00▶午後8:00 ※一部の投票所では、投票時間を変更しています。

## 弘前市長選挙

### 弘前市議会議員補欠選挙

# 弘前市長選挙公報

市政を決める選挙、ぜひ投票へ出かけましょう！

# 弘前市長選挙

## 弘前市議会議員補欠選挙

投票日

令和8年4/12(日)

午前7:00▶午後8:00 ※一部の投票所では、投票時間を変更しています。

### 共通投票所

投票日当日に共通投票所を開設します。  
共通投票所では、お住まいの地域に関わらず投票できます。

場 所	投票日	投票時間
ヒロロ 3階 多世代交流室2	令和8年4月12日(日)	午前9時～午後8時

### 期日前投票

投票日に用事があるなどの理由で投票できない人は、次のとおり期日前投票ができます。

場 所	投票期間	投票時間
弘前市役所 前川新館 1階 市民ギャラリー	令和8年 4月6日(月)から 4月11日(土)まで	午前8時30分～午後8時
岩木庁舎 1階 多目的室		午前8時30分～午後6時
相馬庁舎(相馬やすらぎ館) 多目的室		午前8時30分～午後6時
総合学習センター 1階 中会議室		午前8時30分～午後6時
ヒロロ 3階 多世代交流室2		午前10時～午後8時

弘前市選挙管理委員会 電話35-1129